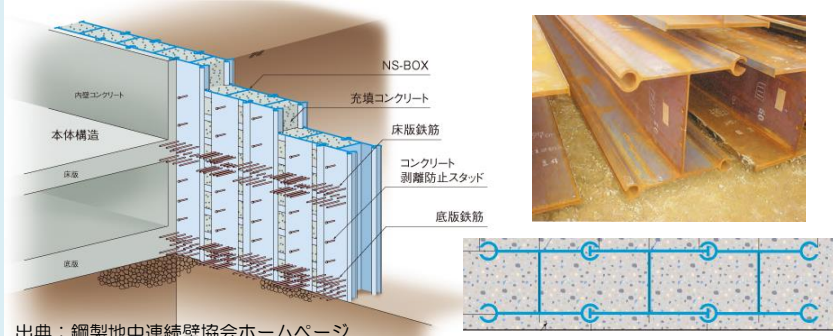


相鉄・東急直通線の駅工事やトンネル工事における安全対策

○駅工事（新横浜駅・新綱島駅）

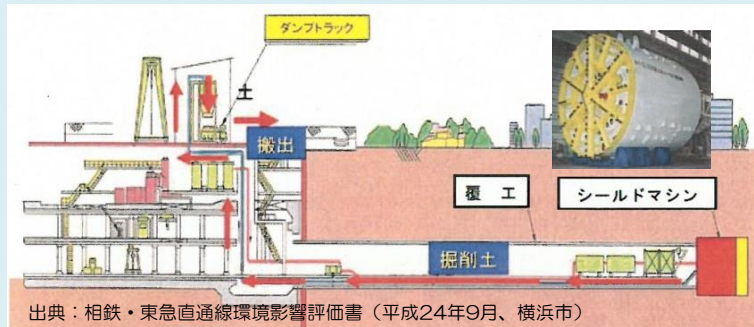


出典：鋼製地中連続壁協会ホームページ

※開削工法とは、地表面から土留壁などを用いて掘削を行い、構造物を構築する工法です。

○トンネル工事（羽沢トンネル・新横浜トンネル・綱島トンネル）

駅間のトンネル工事は、一部開削区間を除き、都市部などの地上部が開発されている場所や地下水が豊富な箇所の掘削に適したシールド工法を採用しています。工事を進めるにあたり、覆工から異常な漏水がないかを点検することとあわせ、トンネル直上付近の地下水位や地盤への影響を確認しながら、慎重に施工を行っています。



出典：相鉄・東急直通線環境影響評価書（平成24年9月、横浜市）

駅工事は、開削工法で施工をしています。各駅の工事とも、土留方式に鋼製地中連続壁（鋼材同士をお互いに連結することでより高い止水性を確保できる工法）を採用しており、周辺地盤の緩みや地下水の浸入を防ぐようにしています。工事を進めるにあたり、掘削ステップ毎に土留壁の異常な変位や漏水がないかを点検することとあわせ、開削周辺の地下水位や地盤への影響を確認しながら、慎重に施工を行っています。

相鉄・JR直通線は西谷～羽沢駅(仮称)まで構造物がつながっています



① 西谷駅付近



③ 西谷トンネル内（シールド区間）



羽沢駅(仮称)でレールの搬入が始まりました

相鉄・JR直通線にレールを敷く、軌道工事が始まりました。羽沢駅(仮称)の仮設開口から長さ25m、重さ約1.5トンのレールを駅の中に搬入しています。この後、まくらぎなども搬入します。



② 西谷トンネル内（箱型区間）



④ 羽沢駅(仮称)

● お問い合わせ先

● 独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構 東京支社 総務課広報担当  
〒105-0011  
東京都港区芝公園2-4-1（芝パークビル）  
TEL 03-5403-8780  
FAX 03-5403-8770  
http://www.jrnt.go.jp/

● 東京急行電鉄株式会社 東急お客さまセンター  
〒150-8511  
東京都渋谷区南平台町5-6  
TEL 03-3477-0109  
FAX 03-3477-6109  
http://www.tokyu.co.jp/railway/activity/network/

● 相模鉄道株式会社 相鉄お客様センター  
〒220-0004  
横浜市西区北幸2-9-14  
TEL 045-319-2111  
FAX 045-319-2191  
http://www.sotetsu.co.jp/

事業の概要や工事の進捗状況など詳しい情報は、以下のホームページをご覧ください  
「都市鉄道利便増進事業 相鉄・JR直通線、相鉄・東急直通線」ホームページ  
http://www.chokutsusen.jp/

# 神奈川東部方面線だより

相鉄・JR直通線 — 西谷駅～羽沢駅(仮称)間  
相鉄・東急直通線 — 羽沢駅(仮称)～日吉駅間

「神奈川東部方面線」は、相鉄本線西谷駅からJR東海道貨物線横浜羽沢駅付近で、JR東海道貨物線へ乗り入れる「相鉄・JR直通線」と、JR東海道貨物線横浜羽沢駅付近から新横浜駅を經由し、東急東横線・目黒線日吉駅で東急線へ接続する「相鉄・東急直通線」を整備し、相鉄線とJR線、東急線との相互直通運転を行うものです。

本事業は、都市鉄道等利便増進法に基づいた速達性向上事業として進めており、横浜市西部及び神奈川県中部と東京都心部との広域かつ多様なネットワークの形成により、時間短縮、新幹線へのアクセス向上等、利便性の向上が図られるとともに地域の活性化等に寄与します。



事業概要

	相鉄・JR直通線	相鉄・東急直通線
整備区間	相鉄本線西谷駅— JR東海道貨物線横浜羽沢駅付近 <b>約2.7km</b>	JR東海道貨物線横浜羽沢駅付近— 東急東横線・目黒線日吉駅 <b>約10.0km</b>
開業予定時期	平成31年度下期	平成34年度下期
整備主体	(独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構	(独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構
営業主体	相模鉄道(株)	相模鉄道(株)・東京急行電鉄(株)
運行区間	海老名駅・湘南台駅～西谷駅～ 羽沢駅(仮称)～新宿方面	海老名駅・湘南台駅～西谷駅～羽沢駅(仮称)～新横浜駅(仮称)～新綱島駅(仮称)～日吉駅～渋谷方面・目黒方面
運行頻度	朝ラッシュ時間帯：4本/時程度 その他時間帯：2～3本/時程度	朝ラッシュ時間帯：10～14本/時程度 その他時間帯：4～6本/時程度

神奈川東部方面線事業に関するお知らせ

神奈川東部方面線事業につきましては、(独)鉄道・運輸機構が整備主体として工事を行い、相模鉄道(株)と東京急行電鉄(株)が営業主体として、事業を進めてまいりましたが、平成28年8月26日に三者連名で報道発表いたしましたとおり、用地取得の難航に伴う工事の遅れや昨今の建設物価高騰などにより、開業時期および建設費は下記の通りとなる見通しとなりました。

- 開業時期  
相鉄・JR直通線：平成31年度下期へと変更になる見通し(現認可：平成30年度内)  
相鉄・東急直通線：平成34年度下期へと変更になる見通し(現認可：平成31年4月)
- 建設費  
約4,022億円へと変更になる見通し(現認可：約2,739億円)

今後、事業を進めるにあたっては、一日も早い開業を目指し、工程の管理に努めるとともに、コスト縮減に今後も継続して努力を払いつつ、取り組んでまいり所存です。引き続き本事業へのご理解、ご協力をお願い申し上げます。

全体平面図・工事進捗状況

相鉄・JR直通線

①西谷駅周辺(開削トンネル部)



西谷駅付近から地下に続く部分の構造物(U型擁壁・箱型トンネル)の形が少しずつ見えてきました。

②西谷トンネル



トンネル本体の土木工事が完了し、今後は軌道工事や電気工事等の設備工事を実施します。

③羽沢駅(仮称)



駅舎の躯体工事が完了し、レール搬入工事を開始しています。今後は地上部の駅舎工事や電気工事等の設備工事を実施します。

④JR貨物 横浜羽沢駅



駅構内の線路を工事桁で仮受けし、線路下にトンネルを構築するための掘削を行っています。

⑤羽沢駅(仮称)



鋼製地中連続壁の建て込みが完了し、環状2号線の下で掘削しています。

⑥新横浜駅(仮称)



駅舎の本体壁となる鋼製地中連続壁の建て込み工事を実施しています。

⑦新網島駅(仮称)



既設東急東横線高架橋の切り替え工事を実施しています。

⑧日吉駅付近



駅舎の躯体工事が完了し、レール搬入工事を開始しています。今後は地上部の駅舎工事や電気工事等の設備工事を実施します。



相鉄・東急直通線

⑤羽沢トンネル



羽沢駅(仮称)から新横浜駅(仮称)に向かって掘進中です。

⑥新横浜駅(仮称)



鋼製地中連続壁の建て込みが完了し、環状2号線の下で掘削しています。

⑧日吉駅付近

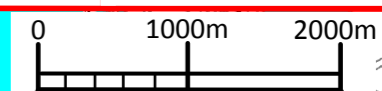


既設東急東横線高架橋の切り替え工事を実施しています。

⑦新網島駅(仮称)



駅舎の本体壁となる鋼製地中連続壁の建て込み工事を実施しています。



※国土院の承認を得て、同院発行の数値地図50000(地図画像)を複製したものです。(平25情複、第942号)